

沿 革

年 月	事 由
昭和58年 9月	・美術館・体育館建設準備委員会において、体育館の設置要綱、建設費との兼ね合いや駐車場のスペース等について具体的な協議（同年11月までの間に3回開催）
昭和59年 1月	・美術館・体育館想定問答資料調整会の開催 ・高松市議会全員協議会（以下「全協」という。）において、体育館建設の基本構想について説明
2月	・高松市スポーツ振興審議会において、全協での提出資料に基づき説明 ・高松市体育協会常任理事会及び理事会において、全協での提出資料に基づき説明後、1日も早い建設と、各競技団体からの意見聴取を要望される。 ・高松市体育協会種目別ヒヤリングにおいて、12種目団体より、それぞれ30分程で意見聴取 ・高松市地区体育協会連絡協議会において、全協での提出資料に基づき説明後、全役員より早期建設を要望される。
3月	・体育館建設に伴う国庫補助金について審議し、補助金をできるだけ多く確保できるように要請 ・高松市教育民生常任委員会で、設計料、地質調査費、事務費として、54,500千円計上することを要請し、了承される。 ・高松市教育民生常任委員会において、高松土地開発公社より体育館の用地を取得するため、補正予算の計上について審議 ・美術館・体育館建設準備委員会の解散
4月	・高松市体育協会、各種競技団体、教育民生常任委員会等からの要望を受け、体育館建設に伴う協議
5月	・香川大学と香川医科大学の教授を招き開催したスポーツ振興専門委員会において、「高松市体育館（仮称）の性格と機能」をテーマにスポーツの研究・啓発機能の位置づけと施設設備への反映について協議
7月	・体育館設計業者が大阪城国際文化スポーツホール等を設計した日建設計に決定
8月	・体育館設計業者による施設の視察 ・香川県教育委員会保健体育課と体育館の概要説明及び情報交換
12月	・香川大学教育学部体育科の教授を招き、施設規模、配置等について意見交換
昭和60年 1月	・高松市議会教育民生調査会において、設計概要について説明（同年3月より具体的な内容で協議） ・高松土木事務所、琴電等と体育館建設用地境界確認
2月	・高松市体育協会常任理事会で、設計概要について説明
3月	・高松市スポーツ振興審議会において、昭和59年2月の説明を受け具体的な審議
6月	・体育館建設に伴う地元説明会において、施設概要、総工事費（35億円）、昭和61年10月10日開館予定であること等を説明
昭和60年 11月	・庁内協議会において、「高松市立体育施設の運営管理受託組織（公社設立）」について設立の目的、日程及び業務内容等について協議（同年12月に1回開催）

年 月	事 由
昭和61年 1月	・組合との団体交渉において、公社設立の必要性、職員の勤務体制、派遣職員の勤務条件及び自主事業の開催方法等について協議（同年2月までの間3回開催）
3月	・高松市議会教育民生調査会の開催 ・事業団設立発起人会の開催
4月	・香川県教育委員会から事業団設立の許可を受ける。設立登記完了 ・高松市番町一丁目8番15号（高松市役所内）に事業団事務所の設置 ・設立出資金として高松市から1,000万円の寄附を受ける。 ・高松市総合体育館（建設中）、高松市立ヨット競技場、高松市立亀岡庭球場、高松市立朝日町庭球場、高松市立仏生山運動場、高松市立市民プールの管理運営を高松市（教育委員会市民スポーツ課）から受託
11月	・高松市総合体育館の開館
昭和62年 4月	・事業団事務所を高松市総合体育館に移転 ・高松市亀水運動センター（亀水荘（体育館を含む。）、プール、第1グラウンド）の管理運営を高松市（教育委員会市民スポーツ課）から受託
11月	・高松市西部運動センター（第1・第2グラウンド）の管理運営を高松市（教育委員会市民スポーツ課）から受託
昭和63年 4月	・受託施設に休館日を設定
6月	・高松市亀水運動センターに第2グラウンドが完成し、供用開始
平成2年 11月	・寄附行為第3条を一部改正し、高松地区西部広域スポーツセンター（かわなべ荘、庭球場、ゲートボール場）の管理運営を高松地区西部広域衛生施設組合から受託
12月	・高松地区西部広域スポーツセンター（温水プール、体育館）の開館
平成4年 11月	・高松市西部運動センターに体育館が完成し、供用開始
平成5年 4月	・高松市立仏生山公園体育館の管理運営を高松市（都市開発部公園緑地課）から受託
11月	・高松市亀水運動センターに砂入り人工芝のテニスコートが完成し、供用開始（第1グラウンドをテニスコートに変更）
平成6年 4月	・高松市南部運動場の管理運営を高松市（教育委員会市民スポーツ課）から受託
7月	・渇水によりプール（7月8日から10月4日まで）と浴室（7月13日から8月22日まで）の閉鎖
平成7年 3月	・第1回スポーツ講演会（上田誠仁氏）・スポーツセミナーの開催
4月	・高松市立仏生山公園温水プールの管理運営を高松市（都市開発部公園緑地課）から受託 ・高松市立朝日町庭球場に夜間照明施設の設置 ・高松市亀水運動センターの庭球場にクラブハウスが完成し、供用開始
9月	・渇水により温水プールの閉鎖（9月18日から10月27日まで）
平成7年 10月	・第2回スポーツ講演会（古橋廣之進氏）の開催
平成8年 3月	・アウトドアフェスタ'96の開催 ・第2回スポーツセミナーの開催
12月	・第3回スポーツセミナーの開催 ・第3回スポーツ講演会（川上哲治氏）の開催

年 月	事 由
平成 9 年 3 月	・高松市立朝日町庭球場を砂入り人工芝に改修し、供用開始 ・アウトドアフェスタ'97 の開催
4 月	・事業団公報紙「スポーツセンターニュース」の発行
1 0 月	・スポーツ文化講演会（栗本キミ代、徳永尚子、東条フミ子氏）の開催
1 1 月	・少年野球指導者講習会の開催
平成 1 0 年 2 月	・「高松市公共施設利用総合情報システム」（愛称：タカマツ・シティ・ネット）の導入 ・高松市福岡町プールの管理運営を高松市（教育委員会市民スポーツ課）から受託（供用開始 4 月）
3 月	・アウトドアフェスタ'98 の開催
8 月	・西部広域スポーツセンター庭球場（1 面増設）を砂入り人工芝に改修、また、ゲートボール場を移転改修し、供用開始
平成 1 1 年 1 月	・スポーツ文化講演会（橋本聖子氏）の開催
4 月	・高松地区西部広域スポーツセンターの管理委託者が高松地区西部広域衛生施設組合の解散に伴い高松地区広域市町村圏振興事務組合に変更 ・高松市南部運動場駐車場拡張及びゲートボール場の設置
平成 1 2 年 3 月	・スポーツ文化講演会（米田一典氏）の開催
4 月	・高松市体育施設使用料の口座振替制度の導入 ・仏生山スポーツフェスタ 2000 の開催
6 月	・高松市立ヨット競技場に 4.8t クレーンを新設し、供用開始
7 月	・バレーボールスペシャルクリニックの開催
平成 1 3 年 6 月	・仏生山スポーツフェスタ 2001 の開催
8 月	・バスケットボールスペシャルクリニックの開催
平成 1 4 年 4 月	・仏生山スポーツフェスタ 2002 の開催
平成 1 5 年 4 月	・高松勤労者体育センター（50m プール）の閉鎖
6 月	・仏生山スポーツフェスタ 2003 の開催
8 月	・バドミントンスペシャルクリニックの開催
平成 1 6 年 3 月	・西部広域スポーツセンターゲートボール場を全天候型に改修し、供用開始
6 月	・仏生山スポーツフェスタ 2004 の開催
9 月	・「かがわ電子自治体システム施設利用申込サービス」の導入
平成 1 7 年 1 月	・冬休み小学生トランポリン教室の開催
5 月	・高松スポーツカーニバル 2005 の開催
1 2 月	・文部科学省・日本体育協会「子どもの体力向上キャンペーン」 スポーツ選手ふれあい指導事業子どもテニス教室（西野真一氏）の開催 ・冬休み柔道教室の開催
平成 1 8 年 4 月	・高松地区広域市町村圏振興事務組合西部広域スポーツセンターの所管が高松地区広域市町村圏振興事務組合の解散に伴い高松市に変更、同スポーツセンターの名称を高松市かわなベスポーツセンターに変更 ・高松市体育施設、高松市かわなベスポーツセンター及び高松市立仏生山公園の指定管理者として高松市から指定を受ける（平成 18 年度から平成 20 年度までの 3 か年）。

年 月	事 由
平成18年 4月	・高松市総合体育館、高松市福岡町プール、高松市亀水運動センター、高松市西部運動センター、高松市かわなベスポーツセンター、高松市立仏生山公園体育館及び高松市立仏生山公園温水プールの休館日の一部変更により開館日数を拡大
5月	・高松スポーツカーニバル2006の開催
6月	・事業団オフィシャルホームページ開設
11月	・高松市総合体育館開館20周年記念バスケットボール高松大会の開催
平成19年 1月	・アスベスト撤去・処理工事に伴う高松市総合体育館の休館（1月9日から2月1日まで）
5月	・高松スポーツカーニバル2007の開催
6月	・濁水によりプールの閉鎖（屋内プール：6月8日から7月17日まで、市民プール：7月1日から8月3日まで、亀水運動センタープール：開設中止）
	・大的場ビクターバスの使用料収納事務を香川県から受託（土木部港湾課）
平成20年 3月	・高松市総合体育館トレーニング室使用料の電子マネー（イルカ）導入
	・高松市西部運動センター第2グラウンド夜間照明設備完成記念カマタマーレ讃岐サッカー教室の開催
4月	・高松市の機構改革に伴い、全管理施設の所管が高松市市民政策部国際文化・スポーツ局スポーツ振興課へ移管
	・高松市西部運動センター第2グラウンドに夜間照明設備設置
5月	・高松スポーツカーニバル2008の開催
8月	・濁水によりプールの閉鎖（屋内プール：8月21日から10月10日まで、屋外プール：8月21日以降閉鎖）
平成21年 4月	・高松市スポーツ施設39施設（高松市総合体育館、高松市立ヨット競技場、高松市立朝日町庭球場、高松市立亀岡庭球場、高松市立仏生山運動場、高松市南部運動場、高松市立市民プール、高松市福岡町プール、高松市亀水運動センター、高松市西部運動センター、高松市かわなベスポーツセンター、高松市塩江町庭球場、高松市内場池運動センター、高松市ホテルと文化の里運動場、高松市牟礼総合体育館、高松市牟礼町プール、高松市庵治町深間庭球場、高松市庵治運動場、高松市庵治ゲートボール場、高松市庵治ペタンク場、高松市香川総合体育館、高松市香川町川東体育館、高松市香川庭球場、高松市香川屋外球技場、高松市香川町大野ゲートボール場、高松市香川町大野河川敷運動場、高松市香南体育館、高松市香南庭球場、高松市香南町吉光河川敷運動場、高松市国分寺橋ノ丘総合運動公園はくちょう温泉、高松市国分寺勤労青少年ホーム、高松市立仏生山公園体育館、高松市立仏生山公園温水プール、高松市牟礼御山公園庭球場、高松市牟礼中央公園運動センター、高松市国分寺橋ノ丘総合運動公園B&G海洋センター、高松市国分寺橋ノ丘総合運動公園グラウンド、高松市国分寺橋ノ丘総合運動公園屋内ゲートボール場、高松市国分寺橋ノ丘総合運動公園勤労者野外活動施設）の指定管理者として高松市から指定を受ける（平成21年度から平成23年度までの3か年）。
5月	・高松スポーツカーニバル2009の開催
平成22年 1月	・プールサイドオーバーフロー溝改修工事に伴う高松市立仏生山公園温水プールの休館（1月5日から4月16日まで）

年 月	事 由
平成22年 5月	・高松スポーツカーニバル2010の開催
8月	・高松市立ヨット競技場スロープ改修工事（香川県高松土木事務所）
平成23年 2月	・天窓改修工事に伴う高松市福岡町プールの休館（2月23日から3月17日まで）
3月	・高松市立亀岡庭球場の第3・4コート2面を砂入り人工芝コートに改修し、共用開始
5月	・高松スポーツカーニバル2011の開催
7月	・耐震補強工事に伴う高松市牟礼中央公園運動センター体育館の休館（7月1日から2月7日まで）
	・漏水止水工事等に伴う高松市立市民プールの開設期間の変更（7月16日から9月19日まで）
9月	・高松市立亀岡庭球場の第1・2コート2面を砂入り人工芝コートに改修し、共用開始
12月	・防球フェンス改修工事に伴う高松市庵治運動場の休場（12月16日から3月30日まで）
平成24年 3月	・高松市内場池運動センター庭球場の閉鎖
4月	・高松市スポーツ施設39施設の指定管理者として高松市から指定を受ける（平成24年度から平成26年度までの3か年）。
	・高松市の組織機構の見直しにより、全管理施設の所管が高松市創造都市推進局文化・観光・スポーツ部スポーツ振興課に変更
	・事業団フェイスブックを開始
5月	・高松スポーツカーニバル2012の開催
6月	・高松市立市民プールリニューアルオープニングイベントの開催及び無料開放
8月	・高松市立市民プールリニューアルオープンに伴うにぎわいイベントの開催
9月	・高松市立市民プールリニューアルオープンに伴うにぎわいイベントの開催
	・プール塗装改修工事に伴う高松市かわなべスポーツセンター温水プールの休館（9月17日から12月28日まで）
平成25年 3月	・公益財団法人として香川県知事から認定を受ける。
	・高松市香川町大野ゲートボール場の閉鎖
4月	・公益財団法人高松市スポーツ振興事業団に名称変更（設立登記完了）
	・事業団ロゴマーク及びマスコットキャラクター「スポのすけ」の採用
5月	・高松スポーツカーニバル2013の開催
7月	・高松市立市民プールの瀬戸内国際芸術祭2013オープニングイベントの開催
	・高松市立市民プールの瀬戸内国際芸術祭2013の運営を高松市から受託（7月20日から9月1日まで）
平成26年 5月	・高松市立東部運動公園の指定管理者として高松市から指定を受ける（平成26年5月から平成30年度までの4年11か月）。
	・高松市立東部運動公園グランドオープン記念イベントの開催
	・高松スポーツカーニバル2014の開催